

日本WHO協会 関西グローバルヘルス(KGH)の集い

オンラインセミナー第4弾  
COVID-19

そのとき、現場は動いた！

第1回(第17回KGHの集い)

病院編

【話題提供】

白野 倫徳 氏 (大阪市立総合医療センター・医師)

小林 米幸 氏 (小林国際クリニック・医師)

【コメンテーター】(調整中)

【ファシリテーター】

中村 安秀 氏 (日本WHO協会)

● ミニ・パネルディスカッション

日時:2021年10月6日(水)19:00~20:30

※1週間の見逃し配信あり!(見逃し配信にも参加登録が必要です)

2020年1月16日に、中国以外では世界で2例目になるCOVID-19患者が日本で報告されてから、1年7カ月が過ぎました。世界をみれば、強かにロックダウンを行い、感染者の隔離と封じ込めで更なる感染を防ごうと動く国もあれば、ワクチン接種者にはマスクは不要と宣言した国もあれば、感染者を追跡して濃厚接触の可能性を通知する「接触追跡アプリ」を活用する国もあります。いずれの国も、ひとつの施策に頼るのではなく、大胆な試行錯誤のなかで、次々と施策を展開しています。

新型コロナウイルスは、自由に変異できる特徴をもっており、その対策も変幻自在にならざるをえない状況のなか、ウイルスの変異と感染症対策は、もぐらたたきの様相を呈しています。海外諸国と比較すると、日本は基本的な施策にほとんど変化がなく、緊急事態宣言と飲食店への自粛要請が、主要な施策となっています。その一方で、この1年以上、日本の現場力には、さまざまな点で賞賛の声が上がっています。

オンラインセミナー第4弾、第1回では病院・クリニックの現場について、議論していきたいと思えます。

#### 参加方法

右記QRコードまたは<https://forms.gle/33vWvUQC9az4Hp3K6>から、お申込み下さい。後日YouTubeのリンクをメールでお送りします。

お問い合わせ 関西グローバルヘルスの集い運営委員会

kansai.gh.tsudoi@gmail.com (メールでお問い合わせ下さい)

